

施工説明書

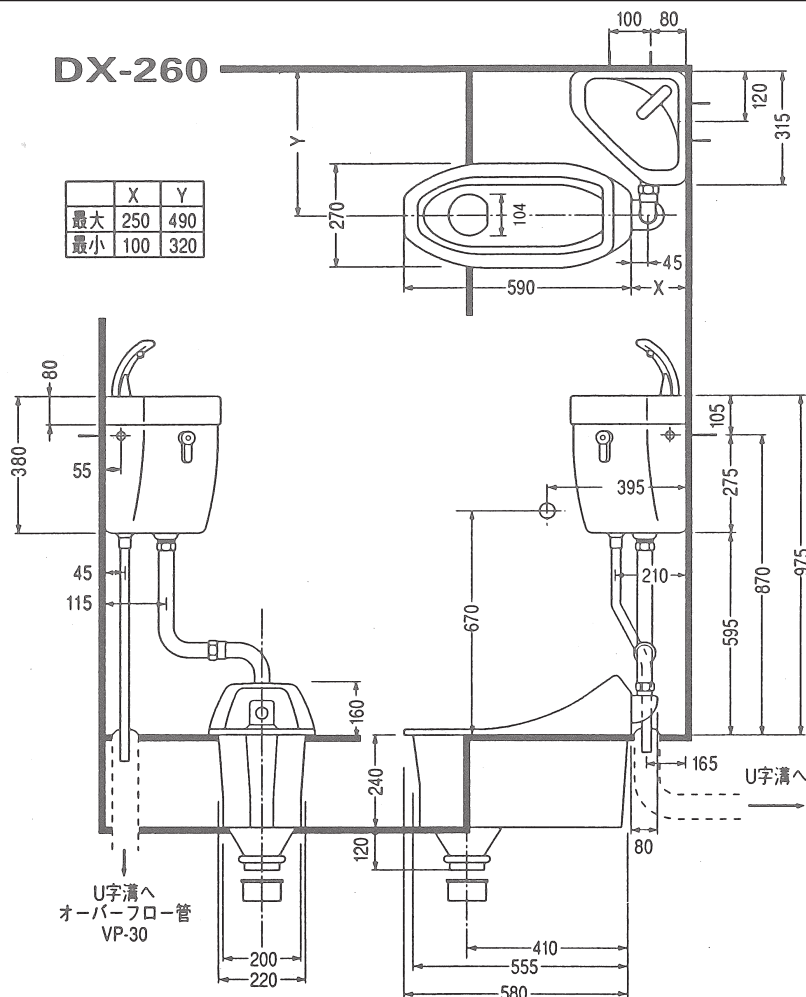
ロングリーン

隅付型簡易水洗便器

DX-260

- 陶器は割れ物です。施工前に輸送中の破損がないことを確かめてください。
- 施工後に施工段階での破損がないことを確かめてください。
- 水タンク内の余剰水がトイレ室内に流出しないように、必ずオーバーフローをとり、U字溝へ流して下さい。
- 止水栓はセットに含んでおりません。洗浄ノズル付きの機種には専用の止水栓が付いています。
- 止水栓の調整と施工後の漏水検査を必ず行ってください。
- お客様にお渡しするまでに凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。

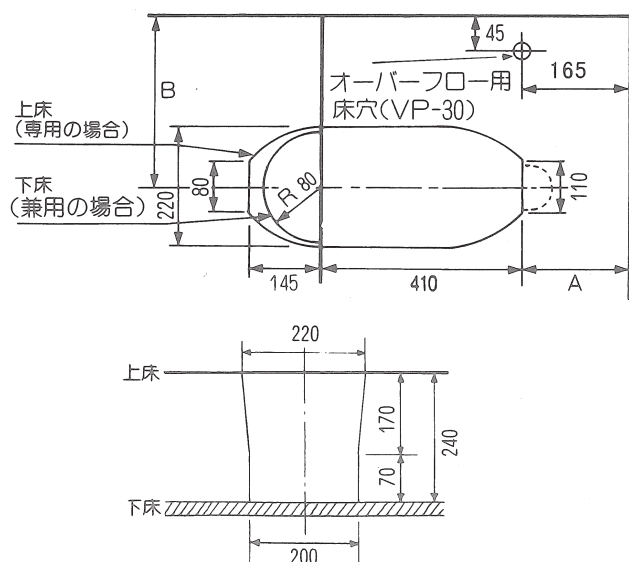
1. 設計図



注意事項

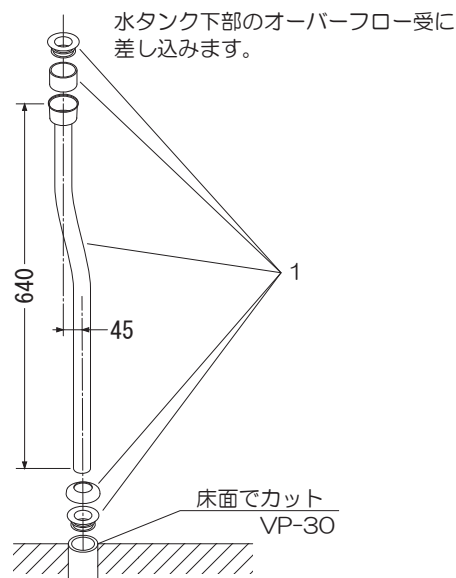
- 洗浄管内には、常時水がたまる構造ですので、水漏れのおそれがないよう、注意して施工してください。

2. 床穴寸法図



3. オーバーフロー接続図（部分）

No	部品番号	部品名	数量	備考
1	AZ-09081	ワン付電管セット	1	



●付属品は、改良のため変更する場合があります。

ロンシール機器

3. 組立図

No	部品番号	部品名	数量
1	AY-09081	ワン付雷管セット	1
2	AZ-03371	φ32サイド用洗浄管袋ナットセット	2
3	AZ-06096	和式接続ソケット(ビス付)	1
4	AZ-03800	260(250)用トラップノズルセット	1
5	AZ-03366	φ32洗浄管セット(TW-260Z)	1

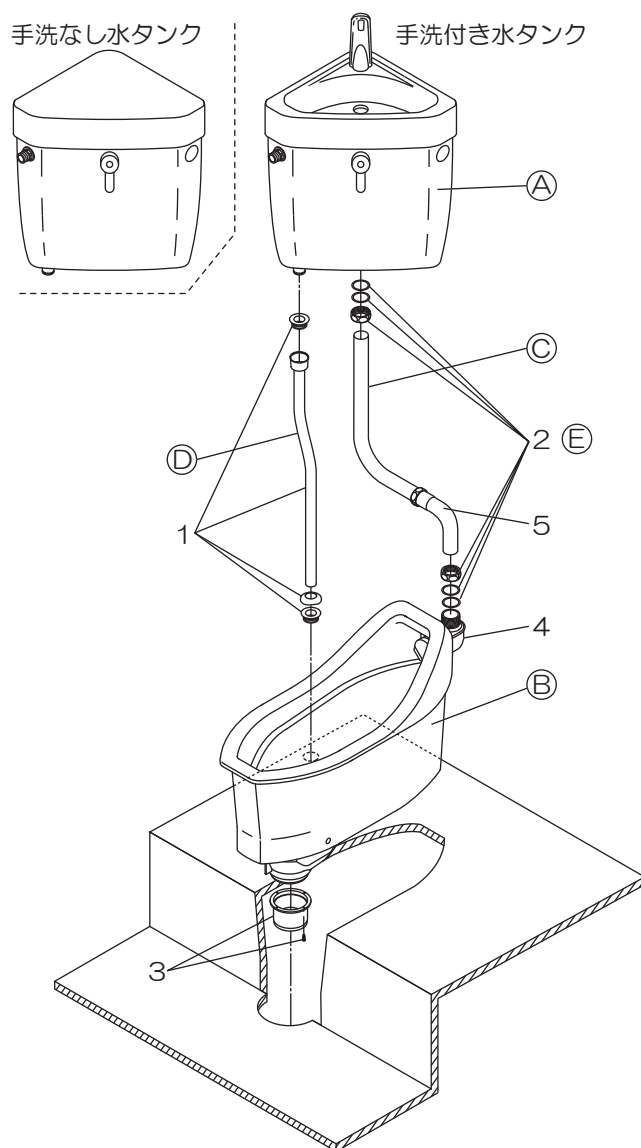
取付順序

- ① 水タンクを所定の高さに取付けます。
- ② 和式本体を床穴に設置します。
- ③ 洗浄管を和式本体と水タンクに取付けます。
- ④ あらかじめ、U字溝から床下に来ているオーバーフロー用塩ビ管にワン付雷管とサンリーゴムを取付けます。

●洗浄管取付時のお願い

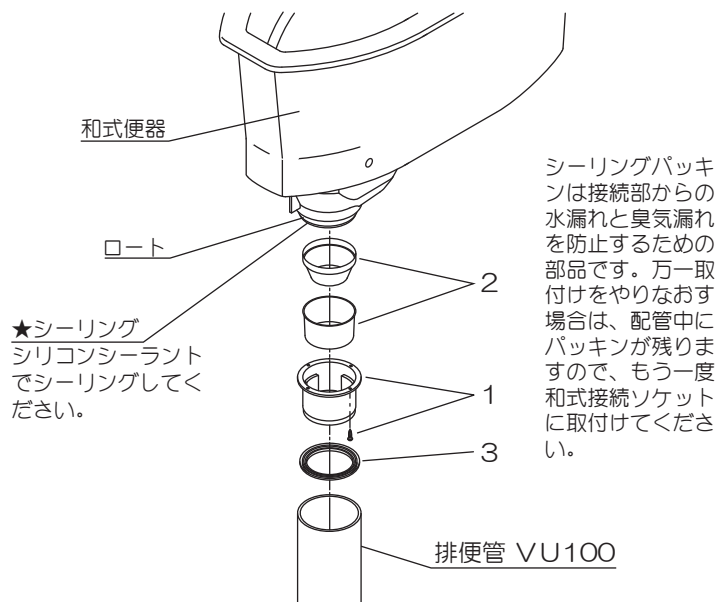
洗浄管を取り付けた後にレバーを3回廻してから、ノズルより出た水がすぐに止まるかどうか確認してください。

※長く水がノズルから出ている時は⑤の部分より空気が入っている事がありますので⑤のナットをもう一度締め直してください。



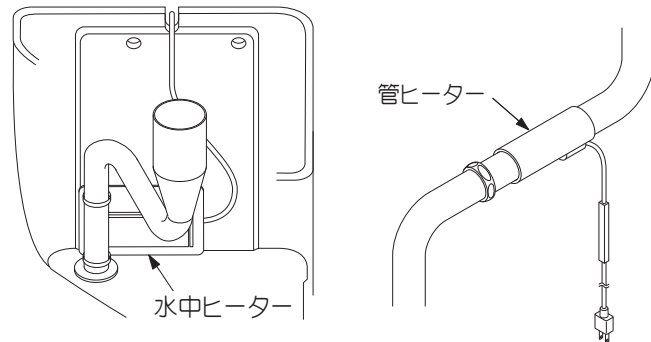
4. 排便管接続図

No	部品番号	部品名	数量
1	AZ-06096	和式接続ソケット(ビス付)	1
2	AZ-06267	組込用ウジ返し	1
3	AZ-06269	シーリングパッキン	1



5. Fタイプ・水中ヒーター取付図

- 水中ヒーターはオーバーフローパイプに取り付けてあります。止水バルブとボールタップに接触していないか確認してください。
- 管ヒーターは洗浄管を組み立てる前に、横引き部に取り付けてください。



凍結防止ヒーター付をご使用の方へ

- 防寒ヒーター(水中ヒーター)をご使用の場合は、寒冷の時期には電源を入れたままにしておき、暖かくなったら電源を抜いてください。
- このヒーターは-5℃まで耐えられます。-5℃以下になるような場合は、水抜きによる凍結対策を行ってください。
- 長期不在する場合は、電源プラグを抜いてください。凍結時期の場合は、水抜きによる凍結対策を行ってください。

7. 配管施行要領

1. 穴掘り作業

①右表の埋め込み寸法に従い(図 1)の
ように、できるだけ基礎に近づけて
穴を掘ってください。

②穴の底に約100mmの厚さの捨てコン
クリートを必ず敷いてください。

●穴掘り寸法

品種	穴寸法	直径(mmφ)	深さ(mm)
	600	1,400	1,400
	700	1,500	1,400
	800	1,600	1,430
	1000	1,700	1,480
	1501	1,300×2,300	1,200

※寸法表よりも余裕があるように穴を掘る

2. 仮組式

右の図のように自在ソケット、導入パイプ、導入自在エルボ等をつないで仮組立
をし、長さ及び取付角度を確認して下さい。

この仮組立の場合各スリーブ箇所はかん合部まで確実に差し込んで下さい。

接着剤を塗布した場合は仮組時より深く入りますので御注意下さい。

二階配管の場合には導入自在チースと導入自在エルボをお使いになると正しい角
度が出せます。

自在エルボ、自在チース共所定角度25°~45°以上には動きませんから無理をして
破損しないようにして下さい。

汚水たて管が1.5m以上の場合には臭突が義務づけられていますのでたて管の頂
部に臭突キャップを使って臭突をたてて下さい。

導入パイプには肉厚2.0mm以上の塩ビ管、及びVU管の何れもが接続出来るように
スリーブがついていますが、出来るだけVU管をお使い下さい。

3. 接着作業

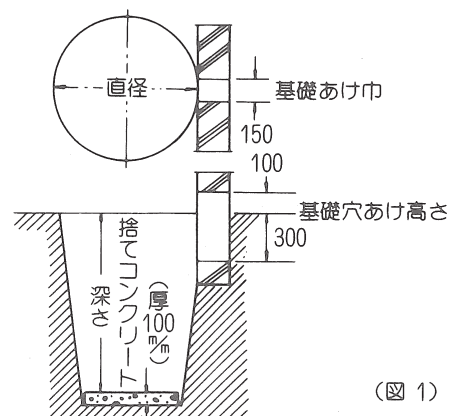
接着部分がよごれていると接着効果が悪く漏水の原因になりますので必ず布でき
れいに拭いてから接着剤を塗って下さい。

接着剤は両面に薄く均一にのばし塗り残し部分がないことを確認して下さい。

自在継手の可動部分には必ず図のように接着剤を流し込んで固まらせて下さい。

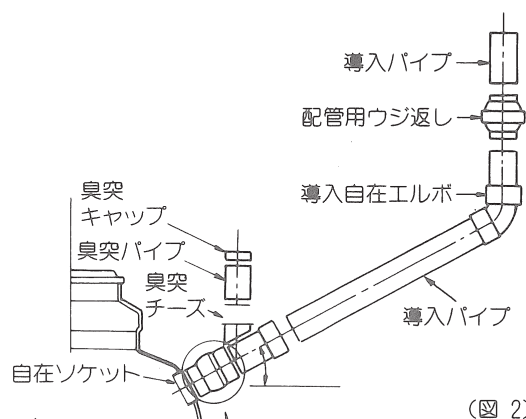
和式本体との接続部にはシリコンコーキング剤をお使い下さい。

埋め戻し作業等は接着箇所が完全に固まってから行って下さい。

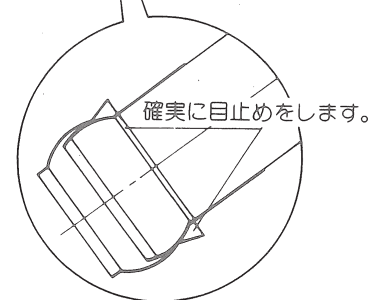


(図 1)

(導入パイプを通すため、上図のように基礎に
穴をあける。)



(図 2)

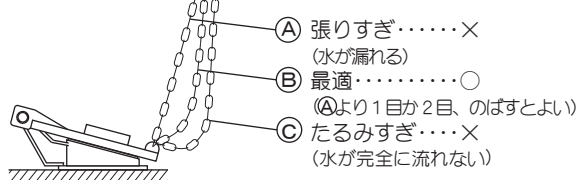


8. 止水バルブの調整

各種共通 排水調整とクサリの張り方

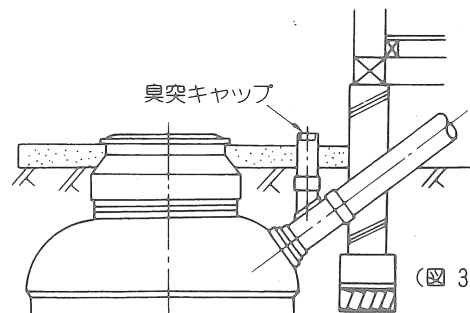
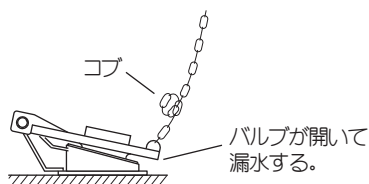
クサリの張り方
は右図の要領で
注意深く行って
ください。フック

※吐水量が多い場合は一目
のばしてください。



クサリを張るときの注意

クサリをねじったまま張るとコブの原因と
なりクサリが短くなって止水不良となる。



(図 3)

1. 設計図

配管注意事項

1. 配管材料

- ①管の外観・形状・材料は、JISK 6741(硬質塩化ビニール)によるものとし、肉厚は、汚水館にあっては2mm以上、排気管にあっては1.5mm以上であること。
- ②継手は①に準ずるものとし、汚水管用は、汚物の流下に支障のない形状・構造を有するものであること。
ただし、継手の肉厚は、ブロー成型品に限り、少なくとも①の80%とすること。

2. 汚水管

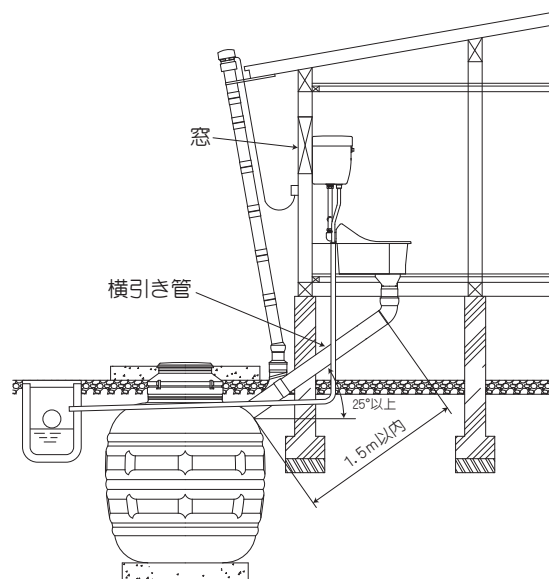
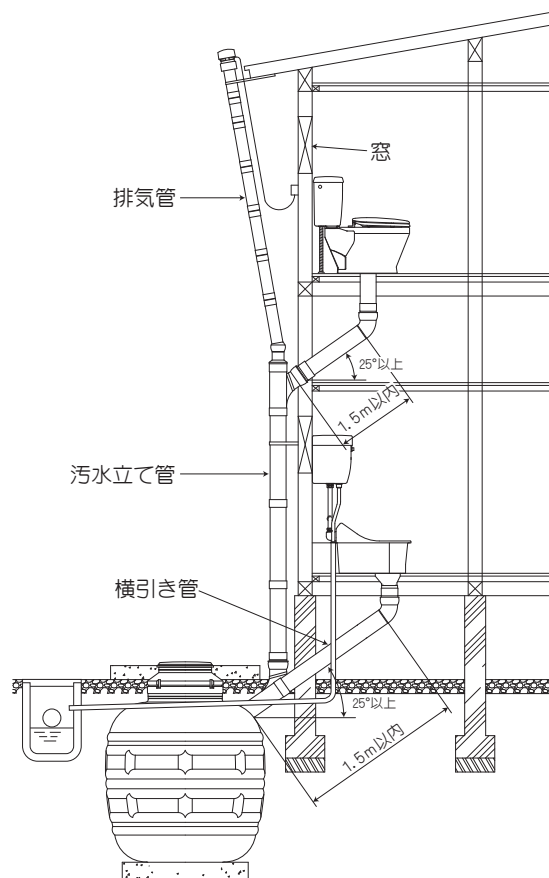
- ①汚水管の関係は、呼び径100以上とすること。
- ②横管の管長(実長)は、1.5m以内、勾配は25°以上とすること。
- ③エルボの個数は、極力少なくすること。
- ④配管等の接合部は、十分な耐久性、水密性、気密性を有すること。

3. 排気管

- ①管長(直管実長)が1.5mを超える汚水立て管を設ける場合は、その上部等から排気管をとるなど適切な排気装置を設けること。
- ②排気管の先端には、排気トップ等を設けること。
- ③排気トップ等は、防臭機能に支障を来さない性能であること。
※電動ファンを取り付ける場合、10W未満のこと。
- ④排気トップの下端には、建物の出入口・窓・換気口などの上端から600mm以上高い位置に設けること。
- ⑤排気管の管径は呼び径50以上とすること。
- ⑥排気管の接合部は、十分な耐久性、気密性を有すること。
- ⑦管長(直管実長)が1.5m以下の汚水立て管で排気管を設ける場合は、②～⑥と同様の施工をすること。

4. 配管の通水試験

工事完了後次のような通水試験を行うこと。
10リットルの水を1回以上流して漏水の有無を調べる。



ロンシール機器株式会社

〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町4-6・東邦センタービル2F
☎ 03(3862)9825 FAX 03(3862)9810

ホームページアドレス <http://www.lonsealkiki.co.jp/>

札幌営業所 〒060-0063 札幌市中央区南3条西12丁目325-2番地・キャピタルビル204号 ☎ 011(272)1013(代)
仙台駐在所 〒984-0037 仙台市若林区蒲町字東29-1・ホワイトキャッスル蒲町ビレジA-105 ☎ 022(294)1120(代)
東京営業所 〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町4-6・東邦センタービル2F ☎ 03(3862)9817(代)
大阪営業所 〒532-0002 大阪市淀川区東三国5-1-8 ☎ 06(6397)6502(代)
福岡営業所 〒815-0041 福岡市南区野間1-1-19・高宮駅前ビル501 ☎ 092(552)1322(代)